

問い合わせ先
人権啓発・男女共同参画推進課
☎0968(25)7209

「このとりのゆりかご（赤ちゃんポスト）」（以下ゆりかご）が、慈恵病院（熊本市）に開設され15年を迎えました。

親が育てられない子どもを匿名で預かるゆりかごは、当初から「子どもの出目を知る権利をどうするか」が課題でしたが、「救われる命があるのなら」という当時の幸山政史市長の最終判断で、2007年5月に運用が開始されました。

「ペ」という取り組みをしていたドイツを視察します。そこから学んだことを基に、2006年に「このとりのゆりかご」構想を発表します。

反対意見に対しても、「私たちは、単に預けることを進めているわけではありません。赤ちゃん・子どもは、親に育てられるのが最も望ましく、幸せなことであることは当たり前のことです」と、強く述べておられました。

しなければなりません。子どもは、自分を守ってくれ、人がいなくなったとき、本当に生きる力をなくします。

先日、うれしい電話がありました。中学校の校長の時に関わった姉弟から「先生、私も弟も子ども2人に恵まれ、元気で」という内容でした。家族や家を失い、生きる気力さえ失った当時の2人。関係機関、児童相談所や児童養護施設を経て、高校進学もでき、現在があります。

施設の園長先生や職員さんたちの愛情に育まれ、笑顔を取り戻すことができました。あの時、2人を施設に託したのは最後の手段でした。「今、幸せです。子どもを連れてときどき園も訪ねます」という言葉に、うれしくなりました。

運営開始から数年後、ある研究会で開設に関わられた同病院の故・蓮田太二院長の話を聞く機会があり、先生の思いや苦悩を知ることができました。

当時、蓮田先生は県内外で連続して発生していた赤ちゃん遺棄事件を大変歯がゆい思いで受け止めるしかありませんでした。「命の誕生に関わる仕事をしていながらなんで助けられなかったか。自分は何をしていたんだ。自分で何も踏み出していなかった。ただの傍観者でしかなかった」という強い自責の念に駆られます。

そこで、匿名で赤ちゃんを預けることのできる「ベビークラッ

ゆりかごは、熊本市と連携して運営され、預けられた子どもは、里親制度や特別養子縁組により愛情を受けられる環境のもとで育てられます。自分では育てられないと預けた親が、再び自分で育てるケースも増えていきます。そこには、丁寧な相談機能が働いています。

現在までに預けられた命は159人（令和4年6月16日現在）。先日、ゆりかごに預けられ18歳になった若者がテレビや新聞で大きく報道されていました。

このゆりかごが誕生して15年。今もここ熊本にしかありません。私たちはそのことをもっと議論



◆シリーズ◆ 南北朝・菊池一族歴史街道 ①

問い合わせ先 菊池プロモーション室 ☎0968(25)7267

新連載スタート

現在の菊池市周辺を拠点に活躍し、南北朝時代に南朝方として九州制覇を成し遂げた英雄・菊池武光の生誕700周年の節目を迎えた2019年、武光とゆかりのある福岡県久留米市、八女市、小都市、うきは市、大刀洗町と本市で「南北朝・菊池一族歴史街道推進連絡協議会」を発足しました。本協議会は、加盟自治体を舞台に広域でのさまざまな地域活性化プロジェクトを展開しています。

今回から、加盟自治体に残された南北朝ゆかりの史跡や歴史文化を紹介しします。

菊池一族とは

平安時代から室町時代にかけて肥後で活躍した武士の一族です。蒙古襲来絵詞や太平記など名立たる書物に足跡を刻み、朝廷や幕府にまでその名を知らしめました。



菊池一族ウェブサイト



菊池神社

菊池一族の本拠地であった本市には、多くの史跡が残されています。

①菊池神社
15代武光の存命中に家督を譲られた16代武政は、菊池本城を限府へと移しました（守山城）。この地は現在に至るまで菊池の中心地として栄え、明治時代には天皇の命により菊池一族の遺徳を称えて本城跡に菊池神社が建立されました。

菊池市

②将軍木と松囃子能場
武光が後醍醐天皇の皇子・懐良親王を迎えると、九州における南朝方の政府「征西府」が菊池に置かれました。親王のために披露したとされる「菊池の松囃子」（御松囃子御能）は国重要無形民俗文化財に指定され、現在も守り継がれています。

懐良親王お手植えと伝わる将軍木（県指定）を親王に見立て、毎年10月13日に専用の能場である菊池松囃子能場（県指定）にて奉納されます。

③正観寺と菊池五山
武光は領主が寺院の格付けを行う「五山制度」を室町幕府に先んじて取り入れました。東福寺、西福寺、南福寺、北福寺、大琳寺の五寺、そして自らが建立した正観寺を「五山の上」に位置付けました。正観寺には武光の墓があり、現在も菊池の人々を見守っています。



パンフレット「菊池一族歴史さんぽ」
令和2年度に「南北朝・菊池一族歴史街道」の事業で制作。武光の足跡を追って、協議会加盟自治体に残された史跡を紹介しています。市役所や観光協会にて配布中。

菊池の情報発信 問い合わせ先 市長公室広報交流係 ☎0968(25)7252

公式フェイスブック「癒しの里 菊池」
祭りやイベント、旬な情報など、タイムリーなニュースを紹介しています。

公式ツイッター「@Kikuchi_city」
菊池のイベント情報やニュースを手軽に確認できます。

公式Instagram「kikuchicity」
絶景だけでなく、街に隠れる意外な見どころなど、写真で伝えたい菊池の魅力を紹介しています。

公式YouTubeチャンネル「癒しの里 菊池 Kikuchi city」
イベントや祭りのほか、プロモーションビデオや動画コンテストの作品など、さまざまな動画をアップしています。

きくち防災・行政ナビ
防災無線や個別受信機からの情報を確認できます。火災情報や学校からのお知らせも配信している無料アプリです。

菊池市ごみ分別アプリ
家庭ごみの分け方や出し方、ごみ収集日などを、スマートフォンやタブレット端末で検索できる無料アプリです。

母子手帳アプリ母子モ「きくちっこ」
予防接種や子どもの成長記録の管理、家族間での情報共有が可能。子育てに関する知識やイベント情報も提供します。

マチイロ
「広報きくち」をいつでもどこでも読むことのできる無料アプリです。

※二次元コードの読み取りがうまくできない時は、上下の二次元コードを隠して再度読み取ってください。

地域おこし協力隊通信

最終年度の3年目は “子どもたち”にフォーカスし活動中!

ダイバーシティ(働き方の多様性)は、慢性的に労働人口が減っていく我が国の大きな課題の1つです。女性、外国人、高齢者、障がい者、子どもを含め、多様な人材の能力が最大限に発揮できる機会を提供できる環境をつくり出すことで、「起業するなら菊池がいいね」と噂されるまちにしていきたい。そんな思いで着任し、最終年度を迎えています。

今年は未来のまちを担っていく「子どもたち」にフォーカスし活動中です。今回は活動の1つ「大人食堂」を紹介します。

大人食堂とは
子どもたちがシェフとなり、大人に料理を振る舞う食堂です。「大人が忙しいなら自分で作れるようになったらいいよ」。そんな思いもあり、地元の料理のプロに協力いただき、1回で1つのレシピが身に付くようにプログラムしています。

vol.59 || まちなか創造プランナー 古閑 恵子さん

主な材料はフードドライブで集めた、もったいない食品と農家さん提供の不揃い野菜。シェフ体験は2時間、その後はたくさん食べて終了となります。子どもの参加費はもちろん無料です。

お子さん、お孫さん、近所の子どもたちなど、気軽に紹介してもらえると嬉しいです。大人の皆さんは300円を握りしめていらしてください。フードドライブ(もったいない食品の回収)も同時開催しています。

スケジュールや詳細はInstagramから

ベテランお母さんが料理の手ほどき @ametomuchi.kikuchi

【問い合わせ先】 商工振興課 ☎0968(36)9720